

## 3月定例教育委員会 会議録

日	時	令和5年3月8日（水） 午後3時00分～午後3時50分
場	所	甲府市役所 9階 会議室9-2
出席委員	数野教育長・市川職務代理者・原委員・末木委員・塚越委員	
出席事務局職員	飯田教育部長・田村教育総室長・林生涯学習室長・平岡総務課長・風間学校教育課長・石川学事課長・芦川教育施設課長・田中甲府商業高等学校事務長・小林甲府商科専門学校事務長・森本生涯学習課長・臼井スポーツ課長・佐久間歴史文化財課長・青木図書館長・橘田総務課課長補佐・菱山総務課係長・坂本総務課主任	
傍聴人	なし	
署名委員		
委員会書記		

・教育委員あいさつ

・会議録署名委員の氏名 市川職務代理者

・2月定例会会議録の承認 原案のとおり承認

数野	
末木	市川
塚越	原

### 1 開会

#### 数野教育長

これより3月定例教育委員会を開会します。

#### (1) 教育委員あいさつ

##### 数野教育長

3月に入り、コロナ禍での3度目の卒業シーズンとなりました。1日の甲府商業高校、3日の甲府商科専門学校で卒業式が無事終了し、9日の中学校、22日の小学校へと続きます。様々なところで語られているように、小学生は中学年から高学年にかけての3年間を、そして中学生や高校生は、入学してからの3年間、感染症対策に留意しながらの学校生活でした。友達のマスクを外した素顔をほとんど見たことのないまま巣立ってゆくことに、遠い昔に「卒業」という節目を経験した大人の一人として、また、長く教育界に携わってきた者として、とても残念でなりません。しかし、最後の最後にマスクを外した姿をお互いに見る機会ができたことは、せめてもの救いと言えるかもしれません。これまでの耐え忍んできた日々の中で、学校行事や部活動など、学校生活のあらゆる場面において、常にどうすればできるかと創意工夫をして取り組んできた思い出が、卒業生一人一人の今後の人生の何らかの糧になればと願うばかりです。卒業おめでとうございます。

さて、市教育委員会としては、本年度ここまで様々な取組を進めてまいりました。例えば、通学区の弾力化、給食費の公会計化や学納金の代理収納、二十歳のつどいの開催、各種スポーツ関係行事の復活、文化財保存活用地域計画の策定など、各課が中心となってそれぞれ成果を上げられたのではないかと思います。学校教育の面では、私は、年度当初の第1回の校長会で、4つの教育課題への取組をお願いしました。それは、「学校・教職員への信頼回復」「ICT教育の充実による一層の授業改善」「不登校児童生徒に対する総合的な取組の展開」「地域とともにある学校づくりの推進」です。課題の3つ目の「不登校児童生徒に対する総合的な取組の展開」については、日頃の各校の先生方の努力に感謝しているところです。しかし、ご存じの通り、現在、過去最高の不登校児童生徒数を記録した昨年度を上回る状況が続いています。これは、おそらく甲府市だけの問題ではなく、県でも全国でも同様な状況だと思われます。数が多くなっているから言うわけではありませんが、これからは、数を減らすことのみには固執するのではなく、不登校状況にある子どもたちがいることを前提に、その子どもたちにどのように居場所を提供するのか、どのように学習機会を与えていくのか、どのように社会的自立のきっかけを与えていくのかを、今まで以上に考えていくことが大事になってきていると思っています。市教育委員会としても、本年度、山梨大学の田中健史朗准教授を委員長に、不登校総合対策検討委員会を設置し、4つの分科会で協議するとともに、来年度に向けて新たな具体的な取組を検討し、来年度4月に開設する「(仮称)児童生徒支援センター」によって、その取組をより強化していくとともに、中学校2校に市単教員を配置し、不登校生徒を対象に別室指導を行うことなどを計画しています。ただ、どんな施策もどんな施設も、各校の先生方一人一人が、それぞれの児童生徒に親身になって寄り添って、様々なアプローチの方法を取りながら繋がっていくことに優るものではありません。引き続き、各校で「未然防止」「早期対応」を念頭に、粘り強い取組をお願いするとともに、市教育委員会として支援していきたいと考えています。

本日が本年度最後の定例教育委員会となります。この1年を振り返る中で、教育委員の皆さまには、まずは子どもたちや市民の皆さまのことを第一に考え、いつもそれぞれのお立場から貴重なご意見やご提言をいただいたことで、事務局としても自信を持って取り組むことができました。本当にありがとうございました。来年度も引き続きよろしく願いいたします。また、子どもたちや市民の学びを止めないために、常にどうすればできるかを考えて取り組んできた事務局の皆さまにこの場をお借りして改めて感謝申し上げます、挨拶いたします。

## **(2) 会議録署名委員の指名**

### **数野教育長**

会議録の署名委員は、市川職務代理にお願いします。

## **(3) 前回会議録の承認**

### **数野教育長**

令和5年2月8日開催の定例教育委員会の議事録について、何かご意見などありますでしょうか。よろしいでしょうか。

**【原案どおり承認】**

(教育委員会承認)

## 2 議事

### (1) 議題

#### 數野教育長

第5号 令和5年度甲府市学校指導重点について

資料に基づきまして、風間学校教育課長から説明をお願いします。

(風間学校教育課長から資料に沿って説明)

#### 數野教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

#### 市川職務代理者

2点お願いがございます。

まず、1点目ですが、「確かな学力の育成」の「甲府スタイル」の部分についてです。甲府スタイルの授業も提唱されるようになってから、7、8年程経過し、その間、様々な場面で定着に向けて努力をされてきたと思いますが、長い時間が経過すると、形骸化する心配もありますので、また新たな形で取り組みを進めていただけるように、お願いをしたいと思います。

2点目ですが、「「思い遣る心」を育む生徒指導の推進」の部分で、児童生徒支援センターの設置というお話があり、これから設置に向けた準備を進めていくと思いますが、非常に多様で複雑なニーズに对应していくことがポイントかと思えます。様々なケースに柔軟に対応できるように、小回りの利いた対応をしていただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いたします。

#### 風間学校教育課長

1点目の「甲府スタイル」の授業について、学校現場でも定着が進んでいる印象があります。最近では、初任者が増加していることもあり、「甲府スタイル」について、初任者に対する指導も各学校で行われています。また、令和3年度に1人1台端末が導入され、端末を活用しながら、どのように授業を進めていくかが課題になってきており、この部分が、市川職務代理が言われたような、新しい時代に適用するために、少しずつ変えていく必要がある部分ではないかと考えておりますので、今後も研究を進めていきたいと考えております。

2点目の支援センターにつきましては、不登校、いじめ、特別支援の三つについての相談窓口になりますが、ヤングケアラー等も含めて、様々な事案があると思えますので、柔軟な対応ができるように努めていきたいと思えます。

#### 末木委員

2点お聞きしたいと思います。

1点目は、「確かな学力の育成」の部分で、「個別最適な学び」と「協働的な学び」とありますが、具体的にどのようなものか教えていただきたいと思います。

2点目ですが、「信頼される学校づくり推進」の部分で、来年度からは、学校運営協議会が、市内全ての小中学校に導入されるとのことですが、下線部の小中連携を踏まえた学校運営協議会の円滑な

運営について、具体的に教えていただきたいと思います。

### **風間学校教育課長**

1点目の「個別最適な学び」と「協働的な学び」ですが、令和3年度に中央教育審議会から、「令和の日本型学校教育の構築を目指して」という文章が出されており、その中で、「個別最適な学び」「協働的な学び」という文言が初めて出されたかと思います。具体的には、「個別最適な学び」というのは、個々に応じた指導の充実、それから、個々の課題に応じた学習の推進であると捉えております。最近、ICTの活用も増えてきていますので、ICTを活用して、個々に応じた指導を進めていくということも、この中に入ってくるかと思います。ただ一方で、「個別最適な学び」を進めすぎると、学びが孤立してしまうのではないかという心配が挙げられています。従って、個の学びだけではなくて、子ども同士で多様な他者と協働しながら、学びを深めていく、つまり「協働的な学び」ということになりませんが、個の学びと協働的な学びを交互に深めていくことが重要であると考えています。

2点目の小中連携について、市内でも小中連携について、7、8年前から重点的に取り組んでおります。中学校区という言い方になりますが、中学校が中心になって、そこに進学する小学校も交えて、小中で連携した学習が行われております。ある中学校区では、中学校の定期テストに合わせて、N0スマホの日、N0テレビの日を小学校でも設けるといった取り組みを行っております。それから、小学校でも英語のカリキュラムが始まったため、英語の指導を小中連携で行っている地域もあります。このように、小中で連携しながら活動し、そのことを地域や学校運営協議会で協力して、学校づくりに生かしていけるのではないかと考えております。

### **塚越委員**

先ほどの市川職務代理のご発言の中にありました、「甲府スタイル」ですけれども、具体的にどのような内容なのかということをご教示いただければと思います。

### **風間学校教育課長**

「甲府スタイル」ですが、具体的には、授業の見通しと、振り返り、また、子どもたちが考えたいくなる課題の提示、丁寧な板書やノート指導など、授業のベースになる、7つの項目を1冊にまとめた冊子を7、8年前に作成し、市内の小中学校で一斉に取り組んできました。以前は、今日、何の学習をするのかを、黒板に提示しない授業が行われていたこともありましたが、今はそのようなことが少なくなっており、教員の姿勢も変わってきていると感じております。

### **數野教育長**

その他いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

### **數野教育長**

第6号 甲府市武田氏館跡歴史館条例施行規則の一部改正について  
資料に基づきまして、佐久間歴史文化財課長から説明をお願いします。

(佐久間歴史文化財課長から資料に沿って説明)

### **數野教育長**

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

### **原委員**

10ページの第4条のところに、利用料金の還付について記載がありますが、利用料金の還付は具体的にどのような事態を想定しているのか、教えていただきたいと思います。

### **佐久間歴史文化財課長**

利用料金の還付ですが、利用料金を支払った後に、本人の責によらないで、観覧時間が取れなくなった場合や、観覧を取りやめた場合で、本人からの申し出があれば、還付手続きを行うことを想定しております。

### **原委員**

武田氏館跡歴史館については、令和5年4月から指定管理者による運営管理が行われるとのことですが、4月以降、甲府市教育委員会はどのように関りを持っていくか教えていただきたいと思います。

### **佐久間歴史文化財課長**

甲府市教育委員会と武田氏館跡歴史館との関わりですが、企画展の展示内容等に関わる事務については、今後も歴史文化財課で対応いたします。具体的には、歴史資料を扱う企画展の企画立案、展示資料の所有者との貸借交渉等の対応を想定しています。

### **原委員**

利用者からの要望、クレームについては、甲府市教育委員会で責任を持って、対応していただけるということよろしいでしょうか。

### **佐久間歴史文化財課長**

利用者からの要望、クレームにつきましては、指定管理者で対応していただきます。その後、状況によって、歴史文化財課に相談や報告をいただき、対応に改善が必要であると判断すれば、指定管理者へ指導を行っていきたいと考えています。

### **原委員**

ホームページに歴史文化財課のスタッフのブログが掲載されておりますが、そちらは歴史文化財課の職員が継続して編集を行うのでしょうか、それとも、指定管理者の方に引き継ぐのでしょうか。

### **佐久間歴史文化財課長**

歴史文化財課のスタッフブログは、歴史館のことを掲載することもありますし、歴史講座等のイベントについて掲載することもあります。このブログにつきましては、引き続き情報発信のツールとして、歴史文化財課により更新を行っていく予定です。

歴史館については、今後、指定管理者により、ホームページを立ち上げますので、そちらと併せて情報発信を行っていく予定です。

### **原委員**

スタッフブログを拝見したところ、こまめな更新がなされ、歴史関連の記事に関して、とても丁寧に、深く記載がされておりました。とてもいいブログだと思いますので、多くの市民の方、利用者の方に見ていただきたいと感じています。

### **敷野教育長**

その他いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

## **(2) 報告**

### **敷野教育長**

第4号 令和5年度甲府市立小中学校児童生徒入学者予定数について資料に基づきまして、石川学事課長から説明をお願いします。

(石川学事課長から資料に沿って説明)

### **敷野教育長**

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。

### **原委員**

小学校の新規入学者数については、山城小学校と湯田小学校、それから、玉諸小学校と東小学校の間で調整区域が設けられていると認識しておりますが、その解釈で間違いはないでしょうか。

### **石川学事課長**

間違いございません。

湯田小学校につきましては、指定校変更による増加がプラス6名で、そのうち4名が山城小区域からの入学希望者となっております。

### **原委員**

玉諸小学校の指定校変更によるマイナス25名の概ねが、東小学校へ移動したという認識でよろしいでしょうか。

### **石川学事課長**

詳細な数について、今は不明ですが、概ねそのように考えていただいでよろしいかと思ひます。

### **原委員**

学校における児童生徒数の適正化については、様々な取組が行われておりますけれども、その成果が出てきているように感じます。特に湯田小学校については、山城小学校との適正化がなされなければ、恐らく、14名の入学者数を確保できなかったのではないかと思ひられます。山城小、湯田小の両校にとって、児童の学習環境改善に繋がればよろしいかと思ひます。また、甲府市全体の学校規模適正化が今後も進んでいくことを期待しています。

続いて、中学校に関してですが、南西中学校、富竹中学校で指定校変更による、新規入学者がマイナス18名とありますが、学校の規模から考えて、地元の学校に行かない児童が多いように感じられます。中学校へ視察を行った際に、ある中学校長から、地元の学校へ進学してもらうように、様々な努力を行っていると聞いておりますが、その成果が出ていないように感じられます。私立中学校へ進学してしまう等の理由はあるかと思ひますが、甲府市教育委員会として、児童が地元の中学校へ進学しないことについて、何か対策は行うのでしょうか。

### **石川学事課長**

各中学校でも、チラシの配布等により、学校の魅力について発信しているところですが、教育委員会と連携できる部分については、対策を行っていきたくて思ひます

### **原委員**

地区によっては、学区外から進学することを望まず、地元の子どもだけを受け入れたいという学校長もいらっしゃるが、地元の児童、保護者の方を中学校へ招き、学校の魅力について説明を行うなどの努力を行っておりますので、是非、そのような先生方の話を聞いて、希望が少しでも叶うように、連携をしていただきたいと思ひます。

### **平岡総務課長**

小学校と中学校では、通学区域の規模が違っており、小学校では小規模のために、クラス替えができない学校が複数ございます。中学校については、クラス替えができる学校が多い中で、唯一、笛南中学校につきましては、一学級クラス替えができない状況になっております。そうした中で、笛南中学校も調整区域を設定してござりまして、山城小学校の6年生にチラシの配布等を行っておりますので、甲府市教育委員会としても、学校と連携しながら対応していきたくて思ひます。

## **數野教育長**

指定校の変更につきましては、保護者の勤務の問題や、登下校、子ども同士の関わり合い等、様々な要因が関わると思いますので、今後、実態を把握しながら、来年度に向けて弾力化と結びつけながら検討していきたいと考えております。

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では確認しました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

## **3 その他**

### **數野教育長**

その他何かありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

## **4 閉会**

### **數野教育長**

それではこれもちまして、3月定例教育委員会を閉会します。